

災害からいのちを守る赤十字



日本赤十字社千葉県支部が行っている災害救護活動や救援物資の配布、
防災・減災活動の普及、救急法等の普及、
赤十字ボランティアの育成などの赤十字活動は、国や県からの公的資金によらずに、
皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。
皆様からお寄せいただいた活動資金をもとに、
当支部が平成30年度に行った活動をご報告します。

活動資金へのご協力、ありがとうございました。



日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

千葉県支部

あなたが支える赤十字活動

「苦しんでいる人を救いたい」その思いを実現するため、国内外において様々な人道的活動を展開しています

千葉県支部の事業

人間のいのちと健康

1 災害救護体制の充実・強化 147,586千円

地震などの大規模災害に備えて

- 医療救護班の常備 成田赤十字病院等に14個班
- 救護要員の研修 23回 245人
- 災害救護訓練 15回 341人
- 防災・減災セミナー等の開催 41回 約1,400人
- 防災ボランティア登録者数 506人



傷病者の手当をする救護班
(九都県市合同防災訓練・勝浦市)



消防隊員と連携して傷病者を搬送する救護班
(利根川水系連合総合水防演習)

2 健康・安全のための知識と技術の普及 39,301千円

いのちと健康を守るために

- 救急法講習会 1,111回 45,769人
- 健康生活支援講習会 103回 3,634人
- 幼児安全法講習会 141回 3,220人
- 水上安全法講習会 21回 471人
- 雪上安全法講習会 1回 8人



救急法講習



水上安全法講習

3 国際活動に参加 8,874千円

世界中で苦しむ人々のために

- 途上国に職員を派遣 2人
カンボジア、ミャンマーの救急法普及支援事業
- 資金の援助 6カ国に総額400万円
カンボジア地雷犠牲者支援事業等



包帯の巻き方を指導する指導員
(ミャンマー赤十字社救急法普及支援事業)



AEDを用いた救命処置の実技
(カンボジア赤十字社救急法普及支援事業)

4 義肢製作所の運営 52,256千円

身体に障がいのある方の不便を軽減するために

- 義肢・装具の製作・修理 677件
- 出張相談 311回 1,242人



義足の性能確認を行う
義肢装具士



皆さまからのあたたかいご支援、ありがとうございました。
今後ともご協力をよろしくお願い致します。


活動(平成30年度)

尊厳を守るために

7 赤十字奉仕団による活動
33,805千円

より良い地域社会の実現を目指して

- 赤十字奉仕団(赤十字ボランティア) 67団 8,056人
- 防災訓練への参加、防災・減災活動の普及、救急法の普及、献血の推進等
- 義援金の街頭募金活動 7月豪雨災害、北海道胆振東部地震災害の被災者支援




災害時に役立つ毛布ガウンの作り方
(赤十字奉仕団による講習会)

8 青少年赤十字活動
29,743千円

自ら「気づき、考え、実行する」子どもたちを育てるために

- 青少年赤十字採用校 252校(園) 46,724人
- リーダーシップトレーニングセンター等の開催 10会場 59校 496人
- 国内外への青少年メンバーの派遣 モンゴル:中・高校生メンバー 8人
佐賀県・熊本県:小学生メンバー 8人




青少年赤十字採用校の高齢者福祉体験学習

9 赤十字精神と社旨の普及、広報活動
105,129千円

県民の皆さまに赤十字をもっと知っていただくために

- 「千葉ロッテマリーンズ赤十字応援デー」、「日本赤十字社所蔵美術展」、「赤十字KIDS CROSS」等のイベントの開催
- 広報誌「赤十字NOW」の発行等



救護員、看護師体験をする子どもたち
(赤十字KIDS CROSS)

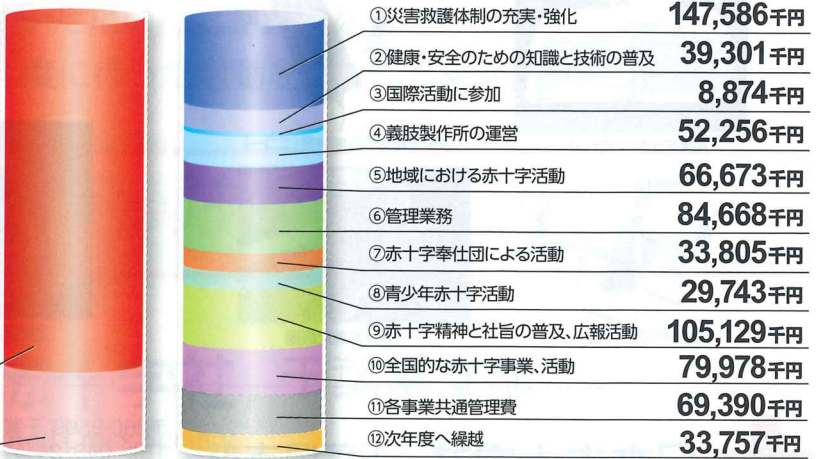
平成30年度ご協力いただいた活動資金

607,656千円

収入総額 751,165千円

支出総額 751,165千円

協力をいただいた資金 607,656千円
雑収入等(補装具製作収入ほか) 143,509千円



決算額は千円未満を切り捨てているため、合計額とは一致しません。

平成30年度における災害救護活動報告

平成30年7月豪雨災害

被害が大きい岡山県や広島県を中心に、救護班の派遣や救援物資の配布、こころのケア活動、生活用水支援などの活動を行いました。



日赤DMATを派遣



断水が続く地域に給水・衛生チームを派遣し、洗濯支援サービスを実施

平成30年北海道胆振東部地震災害

北海道・東北・関東ブロックの各支部が交代で救護班を派遣し、当支部からも成田赤十字病院の救護班が厚真町などの各避難所で巡回診療を行いました。



現地災害対策本部における救護班ミーティング



巡回診療を実施する成田赤十字病院救護班

皆様のご支援により、大規模災害に備えるための救護装備を整備することができました。また、被災者にお届けする救援物資を、県内9か所にある支部拠点倉庫に備蓄しています。

救護装備の整備

- 災害救護用大型エアテント 1基
- 災害救援等車両 4台
- DMAT用資機材 1式
- 災害用支部社屋通信設備増設 1式
- 災害時空撮用ドローン 1台
- リチウムイオンバッテリー 2台
- 災害用移動炊飯器 1台



救護用大型エアテント



携帯用超音波診断装置(エコー)



災害時空撮用ドローン



災害用移動炊飯器

救援物資の備蓄状況

救援物資名	在庫数
毛布	32,785枚
ガーゼケット	3,910枚
日用品セット	2,030組
バスタオル	3,994枚
敷布(シーツ)	3,860枚
収納袋	880枚
布団セット	45組
安眠セット	1,565組
緊急セット	1,584組
タオルケット	490枚

(平成31年3月末現在)



災害救援物資拠点倉庫(市川市)



緊急セット